

カタクリ		熊本県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類（VU） 環境省カテゴリー
<i>Erythronium japonicum</i> Decne.	種子植物 ユリ科	
<b>選定理由</b>	県内局限、分布境界、近年減少	
<b>生育環境</b>	落葉林内	
<b>生育状況</b>	山都町（旧矢部町：目丸山、内大臣）、美里町（旧砥用町：雁俣山）、五木村、八代市（旧泉村）、山江村で生育が確認されている。目丸山や雁俣山の自生地では開花期に多くの方が訪れ、踏み付けによる被害が見られる。	
<b>生存への脅威</b>	踏み付け、動物食害	
<b>特記事項</b>	熊本県の自生地は九州における唯一の生育域であるとともに、山江村は分布の南限にあたる。多様性条例（指定希少野生動植物）。目丸山生育地保護区。	

※「レッドデータブックくまもと2019」より抜粋

（県ホームページ：<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/52/50813.html>）